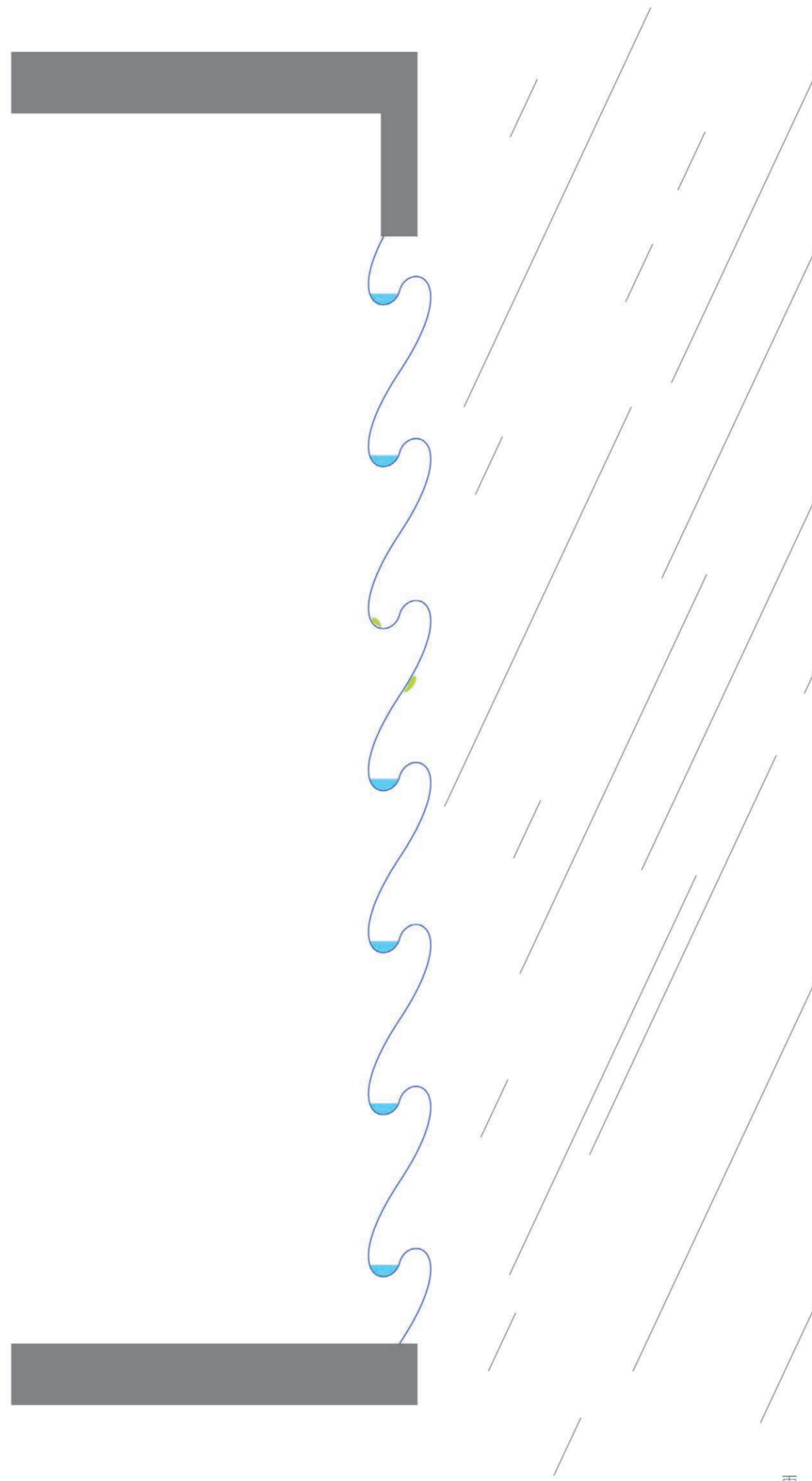




生き物が集まる窓ガラス

晴れ



雨



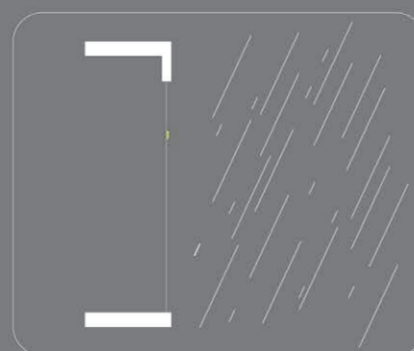
雨上がり

雨の日の窓ガラスにカエルや虫がくっついていることがある。部屋の中からガラス越しに見えるその小さな生き物の姿には、大人になった今でもつい見入ってしまうことがある。

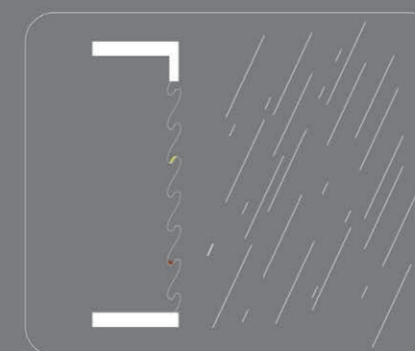
私はこれらの小さな生き物にとっての休憩場所、寝床となるような窓ガラスを提案する。この窓ガラスは断面的に凹凸があり、小さな生き物にとって落ち着ける場所であることと同時に、私たち人間が今までより長い時間、様々な生き物を観察することができるピオトープである。

この窓ガラスは小さな生き物の世界と私たちの世界を繋げてくれる、言うなれば野生とのインターフェイスとして機能する。

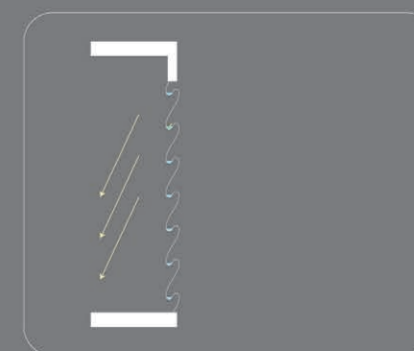
<ダイアグラム>



通常の窓ガラス：  
カエルやイモリなどの吸盤を持つ生き物は窓ガラスに張り付くことができるが、そうではない生き物は除外される。



凹凸のある窓ガラス：  
カエルやイモリなどの小さな生き物が滞在する。また通常の窓ガラスに比べて表面積が広い分、多くの生き物を集めることができる。



生態のシーンとして：  
雨が上がりれば凹んだ部分に水が溜まる。風やカエルによってなびいた水面のキラキラとした光が室内に落ちる。